

安政の五カ国条約

1859年刊

日本が結んだ不平等条約とは？

1858年、幕府はアメリカ・イギリス・フランス・ロシア・オランダの5カ国との間で修好通商条約を結びました。この条約により、日本は函館や神奈川（後に横浜に変更、下田は閉港）等の5港を条約国に開き、江戸と大阪での商取引を許可しました。日本と外国の自由貿易が求められたことに加え、領事裁判権（治外法権）の承認や輸入品に課す税金を決める権利（関税自主権）の欠如など、日本に不利な条件が課された不平等条約として知られています。

Treaties with 5 nations concluded in 1858, published in 1859

In 1858, the shogunate signed the Treaty of Amity and Commerce with US, UK, France, Russia, and Netherlands. Through those treaties, Japan opened five harbors for trade. Moreover, trade markets in Edo and Osaka opened to treaty powers. The requirement, however, of free trade between Japan and other countries imposed unfavorable conditions on Japan.





安政の五カ国条約:江戸時代(1858年)

日本が結んだ不平等条約とは?



う!
白抜きの部分をうめてみよう!

☆安政の五カ国条約って?
⇒アメリカと結んだ日米修好通商条約と同様の条約を他の4カ国とも結んだ、一連の条約をまとめて「安政の五カ国条約」といいます。

☆「不平等条約」と言われるのはなぜ?
⇒鎖国していた日本に5港の開港と自由貿易を認めさせただけでなく、治外法権や関税自主権の喪失を含んでいたことが不平等と言われるゆえんです。しかし、これらの条項が「不平等」だとして問題となったのは、明治以降のことです。

Question
「安政の五カ国条約」は江戸時代の日本にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。考えてみましょう!